



2022年  
8月5日  
No.A22-04

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2022年7月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・7月27日(水)、鈴木 浩 外務審議官(経済)  
「世界経済の展望—G7エルマウ・サミットを終えて」(於：オークラ東京)



#### <要旨>

講師より、6月26～28日に行われたG7エルマウ・サミットの概要と成果の説明がなされた。特に、ウクライナ危機へのG7対応や、インド太平洋、アジア、核不拡散に関する合意内容が考察された。

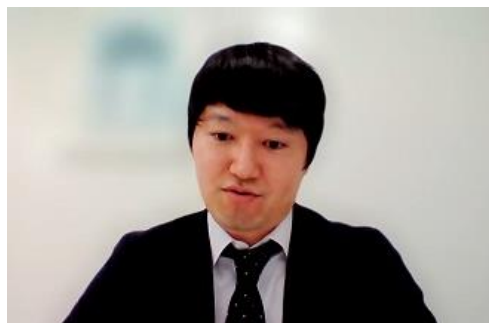
#### (2) 中東情勢分析発表会

・7月20日(水)、第25回オンライン中東情勢分析発表会 (Zoom形式)  
演題：「フランスの中東政策——湾岸諸国との関係強化の狙い——」(研究員 高橋 雅英)

#### <要旨>

近年、湾岸諸国との関係強化を図るフランスの中東政策について、旧フランス植民地時代からの変遷を踏まえつつ、とりわけエネルギー、武器輸出の分野、およびフランス・湾岸諸国双

方の想定され得る思惑に着目しながら、今後の見通しについて検討した。



演題：「トルコと NATO の新展開」(研究員 金子 真夕)

#### <要旨>

ロシア・ウクライナ戦争下で存在感を増すトルコの外交について、北欧2カ国の NATO 加盟国に対する対応と容認に至るプロセスを踏まえつつ、今後の不安要素や国際関係への影響を検討した。



### 2. 中東調査会の活動

- (1) 中東トピックスの発行【会員限定】
- ・2022年7月号 (2022年8月5日付)

1. イスラエル：米国との対イラン結束強化、注目される次期参謀総長の任命
2. イラン：バイデン米大統領による中東訪問への反応
3. トルコ：イラク北部への攻撃事件でイラクとの関係悪化
4. イラク：雲散霧消に向かう政治プロセス
5. サウジアラビア：ムハンマド皇太子のギリシャ訪問
6. アフガニスタン：ウズベキスタンが国際会合を主催
7. リビア：石油輸出の再開、産油量の回復

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

(2) 中東分析レポートの発行 【会員限定】

- No.05「カタルの対サブサハラ・アフリカ外交——サウジ・UAE との競合と共存——」(7月5日)
- No.06「カーブル陥落から1年を迎えるアフガニスタン情勢」(7月15日)

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.04「ソマリアにおけるシャバーブの伸張」(7月15日)
- No.05「JNIM がマリ首都郊外の軍基地を攻撃、ワグネルをめぐる過激派動向」(7月25日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

(4) 中東かわら版の発行

- No.44「モロッコ：スペインからガス輸入の開始」(研究員 高橋雅英、7月1日)
- No.45「イラン：ライシー大統領がロシアのプ

ーチン大統領と会談」(研究員 青木健太、7月1日)

No.46「リビア：石油輸出停止の長期化」(研究員 高橋雅英、7月1日)

No.47「アフガニスタン：ウラマー大会議が3日間開催、11項目の宣言書を採択」(研究員 青木健太、7月4日)

No.48「イラン：ロシアとの金融・銀行、運輸、エネルギー等の分野での関係強化に向けた動き」(研究員 青木健太、7月12日)

No.49「米国・イスラエル：バイデン大統領のイスラエル訪問 (1)」(上席研究員 金谷美紗、7月14日)

No.50「米国・イスラエル：バイデン大統領のイスラエル訪問 (2)」(上席研究員 金谷美紗、7月15日)

No.51「サウジアラビア：バイデン米大統領のサウジ訪問」(研究員 高尾賢一郎、7月19日)

No.52「パレスチナ：バイデン大統領のパレスチナ訪問」(上席研究員 金谷美紗、7月19日)

No.53「イラン：ロシアのプーチン大統領によるイラン訪問の成果とその限界」(研究員 青木健太、7月21日)

No.54「UAE：ムハンマド大統領のフランス訪問」(研究員 高尾賢一郎、7月22日)

No.55「リビア：石油施設の封鎖解除、輸出の再開」(研究員 高橋雅英、7月22日)

No.56「トルコ：黒海からの穀物輸出でロシア・ウクライナが「歴史的」合意」(研究員 金子真夕、7月25日)

No.57「エジプト：ロシアがエジプトへの穀物輸出を確約」(上席研究員 金谷美紗、7月26日)

No.58「チュニジア：新憲法の承認、大統領権限の拡大へ」(研究員 高橋雅英、7月27日)

No.59「トルコ：ロシア・ウクライナ合意による穀物輸出実施に向けた「共同監視機構」が発足」(研究員 金子真夕、7月29日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会と地域 1/中東諸国の成り立ちを理解する」へ当会研究員が出講した。

① 「世俗主義国家トルコの成り立ち(2):なぜ国民はイスラーム復興を望んだのか」(研究員 金子真夕、7月6日)

- ・7月11日(月)、研究員 青木健太「イラン核合意再建に向けた協議再開とウクライナ危機」、研究員 高橋雅英「リビア・マグリブ情勢とエネルギー動向」\*石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の情勢ブリーフィングへ出講した。

- ・7月12日(火)、上席研究員 金谷美紗「ウクライナ危機の中東地域への影響」\*国際協力機構(JICA)の情勢ブリーフィングへ出講した。

**3. その他(要人往来)**

- ・19日、岸田首相と林外相はサウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相とそれぞれ会談した。

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。